

"Invasion 68 Prague" is organized by Aperture Foundation in collaboration with Josef Koudelka, and co-produced with Magnum Photos. This exhibition is made possible, in part, by generous support from Mark and Elizabeth Levine. Additional support provided by HP and ColorEdge.

ジョセフ・クーデルカ プラハ 1968

2011年
5月14日[土]—7月18日[月祝]

開館時間—10:00—18:00(木・金曜日は20:00まで)。入館は開館の30分前まで
休館日—毎週月曜日(7月18日は開館) ※最新の展覧情報はお問い合わせください
主催—公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/朝日新聞社
後援—チェコセンター 協力—平凡社/マグナム・フォト東京支社
協賛—東京都写真美術館支援会員
観覧料—一般800(640)円/学生700(560)円/中学生・65歳以上600(480)円
※()内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員料金
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography [恵比寿ガーデンプレイス内]

この写真を一度として見ることのなかった両親に捧げる

Invasion Prague 68 Josef Koudelka



Josef Koudelka, from the Aperture monograph Invasion 68: Prague.
©2008 Josef Koudelka / Magnum Photos



Invasion Prague 68 Josef Koudelka

1. プラハに押し寄せたワルシャワ条約機構軍の戦車とプラハ市民
2. チェコスロヴァキア・ラジオ局のあるヴィンツォウ大通り
3. ソコロフスカ通り
表紙: 2層にわたって、人がいなくなったヴァーツラフ広場。8月22日、23日
Josef Koudelka, from the Aperture monograph Invasion 68: Prague.
©2008 Josef Koudelka / Magnum Photos

東京都写真美術館では、フォト・ジャーナリズム史に伝説として名を刻むジョセフ・クーデルカの展覧会を開催します。
ジョセフ・クーデルカ(1938年、現チェコ共和国生まれ)は、1968年8月に起こったチェコ事件(ワルシャワ条約機構軍のプラハ侵襲)時、固結して兵士に抵抗した市民の攻防を写真におさめました。しかしプラハの春が終焉を迎え、ソ連が導く共産主義への「正常化政策」が敷かれる状況では、これらの写真は国内で発表できる記録ではありませんでした。そこで、プラハの写真史家とスミノアン博物館の学芸員等の手によって、これらの写真は秘密裏にアメリカへ持ち出され、当時のマグナム会長エリオット・アーウィットを経て、翌69年「プラハの写真家」という匿名者によるドキュメントとして発表されたのです。そして同年、写真家の名を伏せたままロバート・キャパ賞を受賞しました。クーデルカがこれらの写真の作者であると名乗りを上げることができたのは、1984年、彼の父親がチェコで亡くなった後のことでした。
東西に分断された欧州や冷戦下の政治的状況を顧したこれらのエピソードは、20世紀の伝説となり、世界中のジャーナリストたちによって語り継がれています。
本展覧会は、突然、街を埋め尽くした戦車に人力で立ち向かったプラハ市民の勇気ある記録をクーデルカの臨場感溢れる写真から振り返り、当時の市民に起きたことをいかに自身の身に引き寄せ、私たちの未来の歴史の糧とするかを考えるものです。

●関連企画

対談: 小森香子(詩人)×小森雅一(日本文学者)
5月21日(土) 14時~15時30分
本展覧会カタログにもご紹介いただいた小森雅一さんは、1965年(当時12歳)までプラハで暮らしていらっしゃいました。チェコ事件の印象と日本人はそれをどう受け止めたかを、共にこの街で生活した母・小森香子さんと対談していただきます。

レクチャー: ホリー・ベトル(チェコセンター所長)
6月12日(日) 14時~15時30分
プラハの街の歴史、魅力、チェコ人の気質等について幅広くお話いただきます。

◎対談およびレクチャーは下記の要領で開催します。
会場: 東京都写真美術館 2階ラウンジ
対象: ロビーで開催いたしますので、どなたでもご参加できます。
着席: 約50名の方には着席できるよう椅子をご用意いたします。
開場: 午後13時45分より、自由席。

フロア・レクチャー
5月14日(土)および会期中の第2・第4水曜日、午後2時より担当学芸員による展示解説を行います。展覧会チケットの半券(当日領収書)をお持ちの上、展示室入口にお集まりください。

●同時開催

[コレクション展 こどもの情景—戦争と子どもたち]
5月14日(土)—7月10日(日) 3階展示室
[世界報道写真展2011]
6月11日(土)—8月7日(日) 地下1階展示室
※詳細・最新の開催情報はお問い合わせください。



●JR恵比寿駅南口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
●当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
TEL: 03-3280-0099 URL: <http://www.syabi.com>
*予定はやむを得ず変更になる場合がございます。最新情報を当館ホームページにてご確認ください。

